

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表【学部】（2022年度）

年度	科目番号	科目分野	対象学科			科目名	配当年次	単位数	実務経験に関して（WEBシラバス「その他」欄抜粋）	
			生産科	環境科	食品科					
1	2022	122	教養	○	○	○	英語Ⅱ A	2	1	これまでに日本語英語併記新聞での記事執筆・翻訳、米国ビザ申請書類作成業務、幼児英語教室での授業などを担当した経験があります。外国語としての英語を用いて目的を達成するための備え方を本授業の中で伝えます。
2	2022	123	教養	○	○	○	英語Ⅱ B	2	1	これまでに日本語英語併記新聞での記事執筆・翻訳、米国ビザ申請書類作成業務、幼児英語教室での授業などを担当した経験があります。外国語としての英語を用いて目的を達成するための備え方を本授業の中で伝えます。
3	2022	126	教養	○	○	○	実用英語Ⅱ A	2	1	これまでに日本語英語併記新聞での記事執筆・翻訳、米国ビザ申請書類作成業務、幼児英語教室での授業などを担当した経験があります。外国語としての英語を用いて目的を達成するための備え方を本授業の中で伝えます。
4	2022	127	教養	○	○	○	実用英語Ⅱ B	2	1	これまでに日本語英語併記新聞での記事執筆・翻訳、米国ビザ申請書類作成業務、幼児英語教室での授業などを担当した経験があります。外国語としての英語を用いて目的を達成するための備え方を本授業の中で伝えます。
5	2022	180	教養	○	○	○	基礎生物学	1	1	石川県内の県立（小松市立）高校に勤務し理科教育（主に生物基礎・生物）に携わる。☑ ・小松市博物館専門委員（昆虫・鳥類） ・「川北町史（自然編）」の水生昆虫担当。
6	2022	182	教養	○	○	○	基礎物理学	1	1	30年以上にわたり県内の公立高校に勤務。普通科・理数科の教諭・教頭として理科教育（主に物理）に携わってきた経験をもとに物理学の基礎について講義する。
7	2022	183	教養	○	○	○	基礎数学	1	1	石川県内の公立高校に勤務し、その大部分を教諭・教頭として、数学に携わってきた経験をもつ。
8	2022	190	教養	○	○	○	地学	2	2	森林総合研究所で山地崩壊の地形解析業務等に従事してきた。
9	2022	191	教養	○	○	○	生物学実験	2	1	担当には、これまでに国や独立行政法人等の関係機関において、調査研究、技術開発および技術者養成に携わってきた教員が含まれる。これら実務経験で得られた知見や技術の実際を講義に取り入れて学生の理解醸成に活かす。☑
10	2022	195	教養	○	○	○	物理学実験	2	1	民間企業において産業用ロボットの開発・設計に従事した経験を有し、力学分野の実験経験を生かして実験指導をおこなう。（大角）☑ 民間企業において、農業農村整備事業の調査、計画、設計業務に従事した経験を有し、経験を生かして実験指導をおこなう。（一恩）
11	2022	200	共通	○	○	○	生物資源環境学概論	1	2	これまでに国等の研究機関等において、調査研究、技術開発および技術者養成に携わってきた講師が含まれている。これら実務経験で得られた知見や技術の実際を講義に取り入れて理解醸成に活かす。☑
12	2022	201	共通	○	○	○	石川の自然と農林水産業	1	2	石川県農林水産部において農業・林業・水産分野の専門職として勤務。各分野における行政、研究、普及等の経験をもとに本県の農林水産業について講義する。☑
13	2022	205	共通	○	○	○	栽培学概論	1	2	これまでに公設の試験場や行政・普及機関に勤務し、地域の農業振興に関する試験研究や施策の提案に携わってきた経験を有する。
14	2022	206	共通	○	○	○	廃棄物・資源循環論	3	2	これまでに食品メーカーの研究所に勤務し、商品開発をした経験を有する。加工食品が製造される際に発生する廃棄物についても講義の内容に含む。
15	2022	214	共通	○	○	○	農場実習A	2	2	これまでに公設の試験場や行政・普及機関に勤務し、地域の農業振興に関する試験研究、農家指導、施策の提案に携わってきた経験を有する。
16	2022	215	共通	○	○	○	農場実習B	2	2	これまでに公設の試験場や行政・普及機関に勤務し、地域の農業振興に関する試験研究の普及や施策の提案に携わってきた経験を有する。
17	2022	217	共通	○	○	○	地域食農フィールド演習	1	1	これまでに公設の試験場や行政・普及機関に勤務し、地域の農業振興に関する試験研究の普及や施策の提案に携わってきた経験を有する。
18	2022	316	専門	○			動物繁殖学	3	2	これまでに国および独立行政法人の畜産関係機関において、調査研究、技術開発および技術者養成に携わってきた。これら実務経験で得られた知見や技術の実際を講義に取り入れて動物繁殖学の理解醸成に活かす。
19	2022	317	専門	○			動物生体機構学	2	2	担当教員は、これまでに国、独立行政法人または県の畜産関係機関において、調査研究、技術開発および技術者養成に携わってきた。これら実務経験で得られた知見や技術の実際を講義に取り入れて学生の理解醸成に活かす。
20	2022	321	専門	○			生産システム学	2	2	民間企業において産業用ロボットの開発・設計に従事した経験を有し、実務経験を生かして講義を行う。
21	2022	322	専門	○			生物計測工学	3	2	民間企業において産業用ロボットの開発・設計に従事した経験を有し、実務経験を生かして講義を行う。
22	2022	323	専門	○			農業経営・農業生産組織論	3	2	これまでに農業生産者団体（農協連合会）に勤務し、農畜産物の流通と穀物貿易の業務を担当した経験を有する。農業経営分析に必要な農業簿記の基礎とリスク管理方法としての契約や先物取引の実態・実務についても講義の内容に含む。
23	2022	324	専門	○			食料経済・食料安全学	2	2	これまでに農業生産者団体（農協連合会）に勤務し、農畜産物の流通と穀物貿易の業務を担当した経験を有する。農産物卸売市場における取引の実態や農畜産物貿易の実務についても講義の内容に含む。
24	2022	331	専門	○			動物生産学実験	3	2	担当には、これまでに国、独立行政法人の畜産関係機関において、調査研究、技術開発および技術者養成に携わってきた教員を含む。これら実務経験で得られた知見や技術の実際を講義に取り入れて学生の理解醸成に活かす。
25	2022	332	専門	○			生物生産工学実験	3	2	民間企業において産業用ロボットの開発・設計に従事した経験を有し、実務経験を生かして実験指導をおこなう。（大角）
26	2022	401	専門	○			土壌物理学	2	2	理化学機器装置メーカーに勤務。装置開発の経験をもとに、土の物理的環境のセンシング装置の製作工程や測定原理について講義する。
27	2022	402	専門	○			土質力学	2	2	理化学機器装置メーカーに勤務。装置開発の経験をもとに、土の力学的特性の測定装置に関する製作工程や測定原理について講義する。
28	2022	407	専門	○			動物生態学	3	2	国の研究機関に勤務し、野生動物管理に関する研究を行い、行政機関などに助言を行った経験を有する。これらの経験も講義の内容に活かしている。
29	2022	409	専門	○			野生動物管理学	3	2	国の研究機関に勤務し、野生動物管理に関する研究を行い、行政機関などに助言を行った経験を有する。これらの経験も講義の内容に活かしている。☑
30	2022	410	専門	○			水文学	2	2	これまでに農林水産省関係の研究所に勤務し、アジア、アフリカにおける水文・水資源研究を実施した経験を有する。こうした研究から得られたデータなどを活用して、実践に即した講義を行う。
31	2022	411	専門	○			応用生態工学	3	2	これまでに民間の建設コンサルタントに勤務し、官公庁などから委託された農業農村整備事業や河川整備事業に関する調査、計画、設計業務に従事した経験を有する。これらの業務において取り組んだ環境配慮の実例を講義の内容に含む。
32	2022	412	専門	○			施設工学	3	2	これまでに農林水産省や農研機構に勤務し、ダムや水路などの調査・設計・施工管理、コンクリート構造物の機能診断技術や補修工法の開発を行った経験を有する。これらの経験をもち、各種農業水利施設の調査・設計・施工方法について講義する。

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表【学部】（2022年度）

年度	科目番号	科目分野	対象学科			科目名	配当年次	単位数	実務経験に関して（WEBシラバス「その他」欄抜粋）	
			生産科	環境科	食品科					
33	2022	414	専門		○	水資源利用学	3	2	これまでに農林水産省関係の研究所に勤務し、アジア、アフリカにおける水文・水資源研究を実施した経験を有する。こうした研究から得られたデータなどを活用して、実践に即した講義を行う。	
34	2022	418	専門		○	森林流域環境学	3	2	森林総合研究所で山地崩壊の地形解析業務等に従事してきた。	
35	2022	419	専門		○	緑地環境学	3	2	これまでに国土交通省の国土技術政策総合研究所に勤務し、国土レベルでのグリーンインフラや緑地環境行政、生物多様性保全等に関する政策支援、技術指針の策定に従事した経験を有する。これらの経験を、講義に活用し、実践的な教育を行う。	
36	2022	422	専門		○	水理学	2	2	これまでに民間の建設コンサルタントに勤務し、官公庁などから委託された農業農村整備事業や河川整備事業に関する調査、計画、設計業務に従事した経験を有する。これらの業務における水理学の必要性についても講義の内容に含む。	
37	2022	423	専門		○	応用力学	2	2	これまでに農林水産省や農研機構に勤務し、ダムや水路などの調査・設計・施工管理、コンクリート構造物の機能診断技術や補修工法の開発を行った経験を有する。これらの経験をもとに、土木構造物の構造設計に必要な設計理論について講義を行う。	
38	2022	424	専門		○	土木材料学	3	2	これまでに農林水産省や農研機構に勤務し、ダムや水路などの調査・設計・施工管理、コンクリート構造物の機能診断技術や補修工法の開発を行った経験を有する。これらの経験をもとに、各種土木材料の役割と活用方法、コンクリート構造物の劣化機構や補修・補強工法について講義を行う。	
39	2022	426	専門		○	環境関連法規	3	2	石川県生活環境部職員が所管している各法律を逐条解説する。	
40	2022	429	専門		○	土質・土壌物理実験	2	2	理化学機器装置メーカーに勤務。装置開発の経験をもとに、土の物理的特性/力学的特性に関する測定装置の製作工程や測定原理について講義する。	
41	2022	430	専門		○	環境基礎実験	3	2	これまでに食品メーカーの研究所に勤務し、微生物検査を実施した経験を有する。この微生物検査についても授業の内容に含む（馬場保徳担当回）。	
42	2022	431	専門		○	水理学実験	3	2	担当教員は民間企業で官公庁から委託された調査、計画業務を経験した者と国立試験研究機関で調査研究業務を経験した者を含む。これらの業務を通じて経験した、安全かつ円滑に共同作業を行うための心構えについても講義の内容に含む。	
43	2022	432	専門		○	生態学実験実習	3	2	大井は、国の研究機関に勤務し、野生動物管理に関する研究を行い、行政機関などに助言を行った経験を有する。これらの経験も講義の内容に活かしている。	
44	2022	433	専門		○	地形情報処理実習Ⅰ	3	2	大丸は、森林総合研究所で山地崩壊の地形解析業務等に従事してきた。	
45	2022	434	専門		○	地形情報処理実習Ⅱ	3	2	大丸は森林総合研究所で山地崩壊の地形解析業務等に従事してきた。上野は、国土交通省国土技術政策総合研究所で希少野生動植物の生息環境評価技術の開発業務に約4年間従事してきた。	
46	2022	437	専門		○	環境科学フィールド体験実習	1	1	森は、これまでに農林水産省や農研機構に勤務し、ダムや水路などの調査・設計・施工管理、コンクリート構造物の機能診断技術や補修工法の開発を行った経験を有する。	
47	2022	504	専門		○	分子生物学	2	2	担当教員は微生物発酵分野の実務経験者であるため、授業内では、基礎生物学で得られた知見がどのようにして社会に還元されるのか等生物学的知見はもちろんのこと、社会に出た時に役立つであろう勉強法についても触れる。	
48	2022	506	専門		○	食品加工学	3	2	大手容器メーカーでプロジェクトマネージャーとして新規事業の立ち上げを推進。マーケティング→要素技術の研究→研究成果を製品開発に適用→デザインレビュー→製造設備設計→営業・販促活動まで統括し、新製品の上市を成功させた実績あり。	
49	2022	510	専門		○	食品機能学	2	2	これまでに公設試験場に勤務し、企業と共同で機能性食品の開発を実施した経験を有する。機能性食品の開発において取り組んだ研究についても講義の内容に含む。	
50	2022	513	専門		○	食品分析学	2	2	これまでに医薬品企業に勤務し、創薬研究と技術開発研究を行ってきた経験を有する。実例を踏まえたデータの取り扱い方の紹介、様々な業界での分析の利用について実例を踏まえて紹介する。	
51	2022	514	専門		○	食品衛生学	3	2	過去に公的研究機関、及び民間企業に在籍しており、食品の安全性・毒性評価について共同研究に従事した経験を持つ。講義の中では実施した安全性評価法について紹介する。	
52	2022	519	専門		○	食品マーケティング論	3	2	過去に公的研究機関、及び民間企業に在籍し、食品開発の共同研究に従事した経験がある。講義の中ではブランド化や付加価値化のための着眼点など視点を変えて物事を把握する重要性について事例を挙げながら紹介する。	
53	2022	520	専門		○	フードコーディネータ論	3	2	大手容器メーカーでプロジェクトマネージャーとして新規事業の立ち上げを推進。マーケティング→要素技術の研究→研究成果を製品開発に適用→デザインレビュー→製造設備設計→営業・販促活動まで統括し、新製品の上市を成功させた実績あり。	
54	2022	526	専門		○	機器分析学	3	2	これまでに医薬品企業に勤務し、創薬研究から技術開発研究までの経験を有している。食品に限らず実際の世の中の分析の動向や活用方法などを実例を交えながら講義を行いたいと考えている。	
55	2022	529	専門		○	食品製造・調理実験	3	2	容器メーカーに勤務。要素技術の研究、製造設備設計等の担当経験をもとに講義する。☑	
56	2022	536	専門		○	食品科学演習Ⅰ	2	1	この科目は、企業等からの講師による演習指導を含むので「実務経験のある教員による授業科目」に該当する。	
57	2022	600	教職	○	○	○	教職論	1	2	高校教員(英語)の経験をもとに、学校教育の理論と実践の関連性について講義する。また、石川県バスケットボール協会理事・石川県大学バスケットボール連盟理事長(大学選抜監督)の経験をもとに、部活動、地域連携活動における教師の役割と職務範囲について講義する。
58	2022	610	教職	○	○	○	理科教育法Ⅰ	2	2	富山県公立中学校に勤務。実際の授業の経験をもとに理科授業のあり方について講義する。
59	2022	612	教職	○	○	○	理科教育法Ⅲ	3	2	40年以上にわたり石川県内の高等学校に勤務。普通科の教諭として理科教育（主に化学）に携わってきた経験をもとに理科教育の方法について、講義を行う。☑
60	2022	613	教職	○	○	○	理科教育法Ⅳ	3	2	40年以上にわたり石川県内の高等学校に勤務。普通科の教諭として理科教育（主に化学）に携わってきた経験をもとに理科教育の方法について、講義を行う。☑
61	2022	660	教職	○	○	○	職業指導	2	2	国内企業の社長秘書として勤務。アメリカの伊藤忠ニューヨーク勤務。国内・海外の勤務を通して、働くことに関する、人間関係、社会との関わり、自己実現を含む生き方について、自ら得た知識、知恵を講義の内容に含めていく。
各学科単位数計			50	75	53	学部単位数計	110			

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表【学部】（2022年度）

年度	科目 番号	科目 分野	対象学科			科目名	配当 年次	単位数	実務経験に関して（WEBシラバス「その他」欄抜粋）
			生産科	環境科	食品科				

科目分野別単位数内訳

科目分野	単位
教養教育科目（※全学共通）	11
専門共通科目（生産）	13
専門共通科目（環境）	13
専門共通科目（食品）	13
専門科目（生産）	16
専門科目（環境）	41
専門科目（食品）	19
教職科目（※全学共通）	10